

令和5年度
令和6年3月31日公表

事業所職員向け

きずなっずクラスこうふ自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用児童の成長に伴い、活動スペースが狭く感じられることがありますが、公園等の活動を並行して行いながらスペースの確保を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			一日の利用人数に合わせて適切な職員の配置ができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現在、玄関がバリアフリーになっていません。今後の利用児童によっては早急に対応をしていきたいと思っています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月の会議を通して先月の反省、各児童の目標や様子の変化の確認、今月の活動予定等を話し合っています。また会議録は参加できなかった職員にも回覧し、全職員が目を通して実践することができています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査後は、会議で内容の確認を行い、業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在第三者による自己評価は受けていませんが、今後取り入れていきたいと思っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		毎月の会議等で虐待や感染症対策について事業所内研修を行いました。また、外部の研修への参加も行いました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎月の会議の際に、職員全員でアセスメント会議を行います。必要な支援が行えるよう検討し、計画の作成を行いました。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールを実施していますが、年齢に応じた適切な物がなく現在は別のツールを検討しています。
適切 な き	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月の会議で職員全員で活動プログラムを決めています。なるべく様々な活動に参加できるようにスケジュールの確認を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中には、外食体験や公共交通機関を利用する活動等を行い、時間を生かした社会体験ができる機会を多く設けるようにしました。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の課題に合わせた個別支援や他者と過ごす上での課題等に取り組めるよう計画書を作成しました。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全職員で集まり、当日の支援の確認や近々の児童の状況・その日の役割分担について確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎時間の違いや退勤時間の関係もあり、毎回は実施できないため、職員用の連絡ノートの活用、支援記録の確認は毎回行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議の際は、マネージャーや児童発達管理責任者、担当職員が参加をしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケア児童の対応は現在できません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			同法人の、児童発達支援事業所とも連携を図りながら園との情報交換を行ってから、新規利用の受け入れを行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			通所事業所連絡会の参加や、研修を受けています。また、適宜児童発達支援センターを訪問させて頂き、情報交換を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		利用児童の特性と感染症対策を考慮した上で、現在交流の機会は設けていませんが、地域の公園へ出かけ、可能な限り交流の場を作っています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や担当者会議を通じて、利用児童の様子をお伝えしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳・電話等でいつでも相談を受けられる体制を整えています。また、事業所内だけで解決が難しい場合には、相談員さん等に働きかけ、担当者会議を開催していただくこともありました。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			例年は保護者参加のイベントを行い、交流の場を設けていましたが、感染症の影響で今年度は開催ができませんでした。対策を講じながら開催を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情、意見をしっかりと見極め、管理者・マネージャーに周知する体制を強化していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の通信と、保健だよりを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			感染症の影響で、今年度は地域と交流できるイベントを開催することができませんでした。対策を講じながら開催を検討していきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			毎月避難訓練は、実施していますが利用曜日によって参加ができていない児がいるため、通信にて実施状況やマニュアルを載せていきたいと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内で研修を実施し、虐待防止に関する話し合いをする機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

